

5. クラッチ側のアジャストナットでクラッチレバーの遊びの調整を行い、ロックナットを締付けます。

調整後は、クラッチレバーを手で抵抗を感じるまで引き、レバー先端の遊びの量が規定の範囲内にあるかをスケールなどで確認します。

注意

- ・ 調整後、エンジンをかけチェンジ操作がスムーズであるか、エンストまたは飛び出し等がないか確認してください。